

★スタインウェイに愛されるピアニスト★

浦山 純子 in リンデンバウム 2

ピアノの魅力と豊かな音楽！ 至極の時間をあなたと！

2016年5月8日(日) 15:00開演

「リンデンバウム」

千葉県習志野市鷺沼2-8-12 飯田方 お問い合わせ:kibahan@k9.dion.ne.jp

参加費: ¥3,000 Food & Drink付 <要予約>



浦山 純子 (ピアノ)

4歳よりピアノを始め、桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業後、1994年ポーランド国立ワルシャワシヨパン音楽院に留学。1995年ラジヴィーウ国際ピアノコンクール優勝、及び最優秀シヨパン賞(ポーランド)、1998年ポリーノ国際ピアノコンクール最高位(イタリア)をはじめとする数々の賞を受賞。

1996年よりロンドンを拠点とし、名門ウィグモアホールにてデビュー。ヨーロッパ各国でソロリサイタル、コンチェルトから室内楽に至るまで幅広く活動し、2002年には、ウラディミール・アシュケナーズ指揮フィルハーモニア管弦楽団とグリーグ:ピアノ協奏曲を共演し成功を収め、同年再びフィルハーモニア管弦楽団に招かれチチェスター音楽祭で演奏。

2005年に帰国、銀座・王子ホールにてデビュー後、多彩な企画で演奏活動を展開し、スタインウェイ・ジャパン(株)の“Young Virtuoso Series”のアーティストとしても全国各地でコンサートを行うほか、国内外で教育・福祉関係のためのチャリティ活動にも力を入れている。また、2009年よりスタートさせたリサイタル・シリーズ「心の旅への誘い」は、「奥の細道」から着想された『芭蕉の奥の細道による気紛れなパラフレーズ』を取り上げる独創的な企画が注目を集め、2012年には本作品の全曲録音CDとして〈VOYAGE ヴォヤージュ〉をソニー・ミュージックダイレクトより発売、文化庁芸術祭に選出される。

CDはこれまでに、2003年〈Piano Recital ピアノリサイタル〉、2005年〈Fantasie ファンタジー〉、2007年〈Soiree ソフレ〉(いずれもイギリス・シンフォニカレコード)。2014年には5枚目のCD〈Concertos コンチェルト〉(シヨパン:ピアノ協奏曲第1番&ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番、仙台フィルハーモニー管弦楽団 & 山下一史指揮)をリリースし、高評を得ている。浜離宮朝日ホールにてリサイタルシリーズ【シヨパン&ラフマニノフの世界】全4回を開催中。
スタインウェイ・アーティスト。

曲目

☆モーツァルト:ピアノソナタ第11番「トルコ行進曲付き」

☆ドビュッシー:アラベスク第1番

☆フーランク:3つのノヴェレッテ

☆ショパン:練習曲集より「エオリアンハーフ」「別れの曲」「革命」
幻想ポロネーズ 他